



ABSOLUTE MADNESS

BY CRAIG PETTY

< **日本語解説書** >

翻訳：平賀義達

（訳注：これは、「QUANTUM DECK」や「ATOMIC DECK」、「LUCKY LOTTO」など多くのマジック商品を出している、今勢いのあるイギリスのマジシャン、Craig Petty の初めての本なので翻訳してみました。

18の作品が解説されていますが、彼が長年実際にプロとして演じて来たものだけに易しく出来るものは半分もありません。また、長い手順のものもいくつかあります。しかし、いずれも現象は面白いので、チャレンジのしがいがあるでしょう。長い手順は、その一部を使うことも出来るでしょう。

著者の強い個性がこの本にも表れており、すべてのトリックの最後に、10歳になる彼の息子 Ryland がコメントをつけているのも面白いです（才能豊かであることがにじみ出ています）。また、エッセイにも「マジック好きの子供をどう育てるか」といった、他の本には見られないものがあります。

なお、特典としてマジックショップ「PENGUIN MAGIC」のライブの形で、16作品については動画が見られます。ただ、これも本書の解説通りに演じていないケースがいくつもあるので、解説と比較してみるのも面白いでしょう。

＜1 時間 45 分フル実演ショー＞

<http://p3magic.com/absolutemadness>

パスワード：**totallyinsane**

（英語：英語字幕）

では、パフォーマーであり、クリエイターであり、10歳のマジシャンの父親である CRAIG PETTY の世界をお楽しみください

はじめに（要約）

あなたがこの本、「ABUSOLUTE MADNESS」を読んでいるという事は、この本を買っていただいたかどこかのマジックコンベンションで立ち読みをしているかですね。いずれにせよ感謝いたしますが、特に買っていただいた方には毎日無数のトリックや本が現れている今日、この本にお金を投じていただいたことに感謝します。私は皆さんが苦勞して稼いだお金を無駄にはしません。ドラッグやタトゥーなどには使いません！

（訳注：Craig Petty はタトゥーを沢山しています）

私はいつか自分の本を書きたいと思っていましたが、実際には難しいだろうと思っていました。私は約35年間にわたりマジックの世界と関わって来ましたが、良い時も有れば落ち込む時もありました。マジックコミュニティとも仲良かったり、嫌ったりしました。そして、私はマジックコミュニティ全体から「嫌なやつNO1」と思われた時期もあったのです。

私に対する人々の評価や感情がなぜそんなに変わるのかについては、簡単に言えば、私が個性の強い人間であり、自分勝手に妙なことをしたり、口を閉じる時が分からなかったりするからだと思います。私

は論争が好きで、また自分の感情をハッキリ出すタイプなのです。このため、時にはマジックコミュニティから離れて自分のやりたいことをやっていた時期も多かったのです（妻にも苦労をかけました）。

そうした波乱のマジックライフの中でも、1つだけハッキリしていたことがあります。それは「私が絶対にマジックが好きだ」という事です。私のことを好きでない人たちも、そのことだけは認めると思っています。私はティーンエージャーの頃からマジックというアートを愛し、毎日24時間、マジックの事だけを考えて生きてきたのです。マジックの世界こそ私の安住の地であり、嫌なことにめげそうになった時に私が求める世界だったのです。

私がストレスだらけの日々には新しいトリックを考え、妻との口論の時にはダブルリフトを練習し、インターネットで私のことを悪く言われた時はコインとクロースアップマットを手に入れました。

誰にも言ったことのないことを正直に言えば、いろいろ大変ではあったけれど2020年にコロナで世界中が自粛した時期が無かったら、私はマジックコミュニティに戻ることはなかったかもしれません。それほど自分勝手に動いていたのです。しかし、コロナの時期に私が暇にまかせて立ち上げた「MAGIC TV」というユーチューブチャンネルが思わぬ結果をもたらしました。つまり、それは私と世界中のマジックコミュニティをつないでくれたのです。多くの人を知ることが出来ましたが、その中に素晴らしい会社「PENGUIN MAGIC」もあったのです。その会社は、私のその後のマジック活動の舞台を提供してくれることとなったのです（この本も出版できました）。

また、「MAGIC TV」は私の息子の Ryland のパフォーマーとしての成長を助けました。7歳くらいから毎週出演しましたが、失敗はありませんでした。10歳になった時には、私よりうまくなっていました。

その番組のもっとも大きな効果は、番組を通じての知名度アップにより世界中のどのコンベンションにも胸を張って参加出来るようになったことです。出会った人に、（口論することなく）私が実際にはどんな人間かを知ってもらえることにも出来るようになりました。「MAGIC TV」は、私自身の再発見の旅でもあったのです。その番組を作るのはそれなりに大変で、私も毎回一生懸命に準備をして臨みましたので、その努力、姿勢が見る人達に理解されたのだろーうと思っています。大変でしたが、実り多いプログラムでした。それが無ければこの本も生まれていなかったと思います。

知り合った「PENGUIN MAGIC」の人達も素晴らしい人たちで、彼等とのコラボはとても楽しくうれしい時間です。

私がどんな心理的状态でも適切なアドバイスをくれる親友の Lloyd Barnes、「MAGIC TV」制作の要である Matt、お兄ちゃんが気づかないことを指摘してくれる素敵な娘の Thea、何でもこなせる自慢の息子 Ryland、そして私が聞きたくないことでもしっかりアドバイスしてくれる最愛の妻に感謝をさげます。特に、妻には「（私といて）よく我慢できるな」と感心、尊敬するばかりです。

最後に、「MAGIC TV」を見てくださるすべての方に深く感謝します。皆さんがいなければその番組も続かず、私自身の再発見、成長もなかったでしょう。

そしてこの本は、「MAGIC TV」を本の形にしたものにしたいと願って作ったものです。当然にトリックの解説がありますが、それらはすべて実用的なものです。私は実際の客に通用するものしか演じませんので、この本にあるトリックも100%実際に使える強力なものです。

コインマジックもありますが、私は実際にコイントリックをやる人がそう多くないのに驚いています。しっかりしたコイントリックは、他のどんなクローズアップマジックにも負けるものではありません。私自身コインマンなので、この本にも今までどこにも発表していないコインルーティンをいくつか載せてあります。

「MAGIC TV」では毎回、実際の客を相手にトリックをやっていますが、この本もその雰囲気が伝わるように、実際の演技の映像にアクセスできるようにしました。どのトリックもオハイオ州コロンバスにある素晴らしい「P3THEATRE」で収録した私の演技を見ることが出来ます。

（訳注：巻頭の頁にある URL からアクセス出来ます。ただし、演技の順番は本の解説順とは異なっていますし、残念ながら実際にはいくつかは映像がありません。また、本書内で解説しているやり方をしていない場合もあるので参考として見てください）

私自身がイリュージョンショー、キャバレーショー、クローズアップからバルーンアートまで何でもやって来たので、この本のトリックもいろいろなタイプのトリックがあります。セルフワーキングトリックからスライハンドを使うものまで、様々です。

また、私が興味を持っていることについてのエッセイもあります。私はマジックのマーケティング、ビジネスという側面に強い興味を持っているので、それに付いても書いておきました。

この歳になると、私の息子の Ryland のショーの後見をすることも多いのですが、彼にもこの本のトリックについての意見を求めています。彼は遠慮なくアドバイスをしてくれました。ですから、彼もこの本の誕生に貢献していると言えるでしょう。

という訳で、「ABSOLUTE MADNESS」にようこそ。私もそうですが、普通は「はじめに」などとはばしてトリックの解説から読む人が多いですが、あなたはよくここまでついてきてくれました。そこで、お礼に「マジックへの愛を失わないための5つのアドバイス」を最後に書いておきます。

1. 趣味は楽しいものです。たとえあなたがプロのマジシャンだとしても、マジックを趣味としましょう。学ぶ時も、演じる時も、創作する時も楽しんでやることです。
2. 自分に練習を強制しないようにしましょう。練習は必要ですが、嫌々やるものではありません。強制されてやるのではなく、したいから練習するのです。
3. 他のマジシャンとの接触を持ちましょう。マジックコミュニティには嫌な人も中にはいますが、素晴らしい人も沢山います。ネットあるいは対面でそれらの人達とマジックへの愛をシェアしましょう。
4. 一般客に対して演じる機会を増やしましょう。始めは知らない相手に演じるのは心配で、怖くさえあります。しかし、演じるということはドラッグのようなもので、一度勇気を出してやるともっとやりたくなるのです。間違いありません！
5. 新しいトリックをすべて買うのは止めましょう。買った道具をやりもしないでたんすの中にしまい込む「トリックのやり方のコレクター」になるのは止めましょう。ミラクルを演じるパフォーマーになってください。唯一の例外は私のトリックです。見つけたらすぐに買いに走ってください！

以上、読んでいただいて有難うございます。「ABSOLUTE MADNESS」にようこそ！そのマジックの世界を楽しんでください！

ESSAY: MAKING A TRICK YOUR OWN (要約)

誰もが分かっているように、自分でトリックを創り出せる人は多くありません。普通は次々と出て来る新しい商品を買って楽しんでいます。皆、マジックとなると子供のようで、コンベンションなどに行く
と帰りはバッグにいっぱいトリックを買い込んでくるわけです。それ自体は悪い事ではなく、楽しみの一つです。しかし、最も楽しいのは、そのトリックを自分のものとする事だと思います。皆さんも買って来たトリックの解説を見て、どうやって自分流にしようかと頭をひねったことが何度も有るでしょう。私もそのことについて、よく聞かれますので私の考えを述べてみたいと思います。これは「創作」についての総合的なガイドではなく、他のマジシャンのトリックをあなたに合うようにするためのアドバイスであり、私自身も実践しているテクニックです。

—以下省略—

第1章 CARDS

ACROSS

これは、「客が思ったカードの CARD ACROSS」の私のやり方です。いろいろなやり方がありますが、これは私が気に入っているものです。

一番気に入っているのは、これがシャフルしたデッキで出来ることです。エキストラカードも必要なく、いつでもどこでも出来ます。デッキをシャフルさせたら、すぐにこのルーティンに入れます。

これは客の賞賛をとれるトリックです！

(現象)

シャフルされたデッキから20枚のカードを取り出して、10枚ずつに分けます。客が思った1枚のカードが、一方のパケットから他方のパケットへと飛び移ります。

—以下省略—

AWESOME SANDWICH

私はこのトリックを「AWESOME SANDWICH」と名付けましたが、それはこれが「AWESOME（とんでもない）」なものだと思ったからです。私が考案したトリックの中でももっとも強力なものの1つであり、とても楽しい3段階のルーティンです。

客のカード当てから始まって、最後は「FOUR OF A KIND」の出現で終わる手順構成にもとても満足しています。

（現象）

2枚の黒のQをテーブルに出します。客がカードを選びますが、Aとします。マジカルジェスチャーをすると、Aはテーブルの2枚のQの間に現れます。Aはデッキに戻して、2枚のQはテーブルに置きます。しかし、何とAはまた2枚のQの間に現れるのです！最後に、他の3枚のAもQの間から現れるのです。

—以下省略—

BACK OFF

これは私のお気に入りの1つで、易しく出来てとても実用的なものです。テーブルも要らないし、何処でもいつでも出来ます。「AMBITIOUS CARD」とパケットトリックを組み合わせたものであり、「IMPOSSIBLE LOCATION」などいろいろなカードマジックの要素を含んでいます。

ルーティンの構成と使うギャフカードによって、易しく演じられます。レギュラーデッキとシャーピーマーカー、数枚のダブルバック（DB）カードがあれば出来ます。DBカードはいつでもデッキに加えられるでしょう。

あなたが「AMBITIOUS CARD」をやるなら、それがいかに強力であるかがわかると思います。ただ、毎回同じことをやるのではなく、あなたの「AMBITIOUS CARD」ルーティンとこのトリックを交互にやるのも変化があって良いでしょう。

（現象）

客がカードを選び、サインします。カットによってもう1枚のカードを選び、「ミステリーカード」としてテーブル（あるいは客の手の上）に出しておきます。客のカードをデッキの中央に入れますが、不思議にもトップに上がってきてしまいます。

これを3枚のカードで行います。客のカードを他の2枚の一番下に入れても、真ん中に入れても一番上に出てきます。

マジシャンは秘密を見せると言って3枚のカードを見せますが、それらはすべてサインされたカードな

のです。

さらに、3枚はすべて裏しかないカードに変化してしまいます。客は自分がサインしたカードがどこに行ったのかと思いますが、マジシャンがテーブルの「ミステリーカード」の表を見せると、それが客のサインカードなのです。

—以下省略—

FINAL TWIST

この本を読んでいる人達の中には間違いなく Vernon の「TWISTING THE ACES」をやったことがある人がいると思います。私もそのトリックが好きですが、何か特別なクライマックスが欲しいと思っていました。

いろいろ考えているうちに、John Bannon の「PLAY IT STRAIGHT TRIUMPH」が使えないかと思いました。新たなクライマックスを付け加えたことで強力なトリックとなりましたが、きっとあなたも気に入ってくれると思います。

（現象）

マジシャンはデッキから4Aを取り出して、Aが1枚ずつひっくり返って行くという伝統的な現象を見せます。次に、客に1枚好きなAを言わせます。4枚のAを客の手に持たせますが、客の選んだAだけがひっくり返るのです。そして、最後のキッカー（驚かせるもの）としてデッキを広げると、客のAのスートのカードがすべて表向きになっているのです。

—以下省略—

本編は 81 ページ

日本語説明書©2025 FTM: *Feather Touch Magic Inc.*

販売: (有) フェザータッチ MAGIC

www.FTMagic.JP

フェイスブック: www.facebook.com/ftmagic

(新製品情報、特別セール情報等はこちらでチェック)

メール: FT@FTMagic.JP